



กชม

สำนักอนามัย

HEALTH DEPARTMENT

アジアにおける感染症対策 (CCIDA) 2025 バンコクにおける感染症対策の現状と戦略

公衆衛生感染症対策局

保健省

バンコク都庁

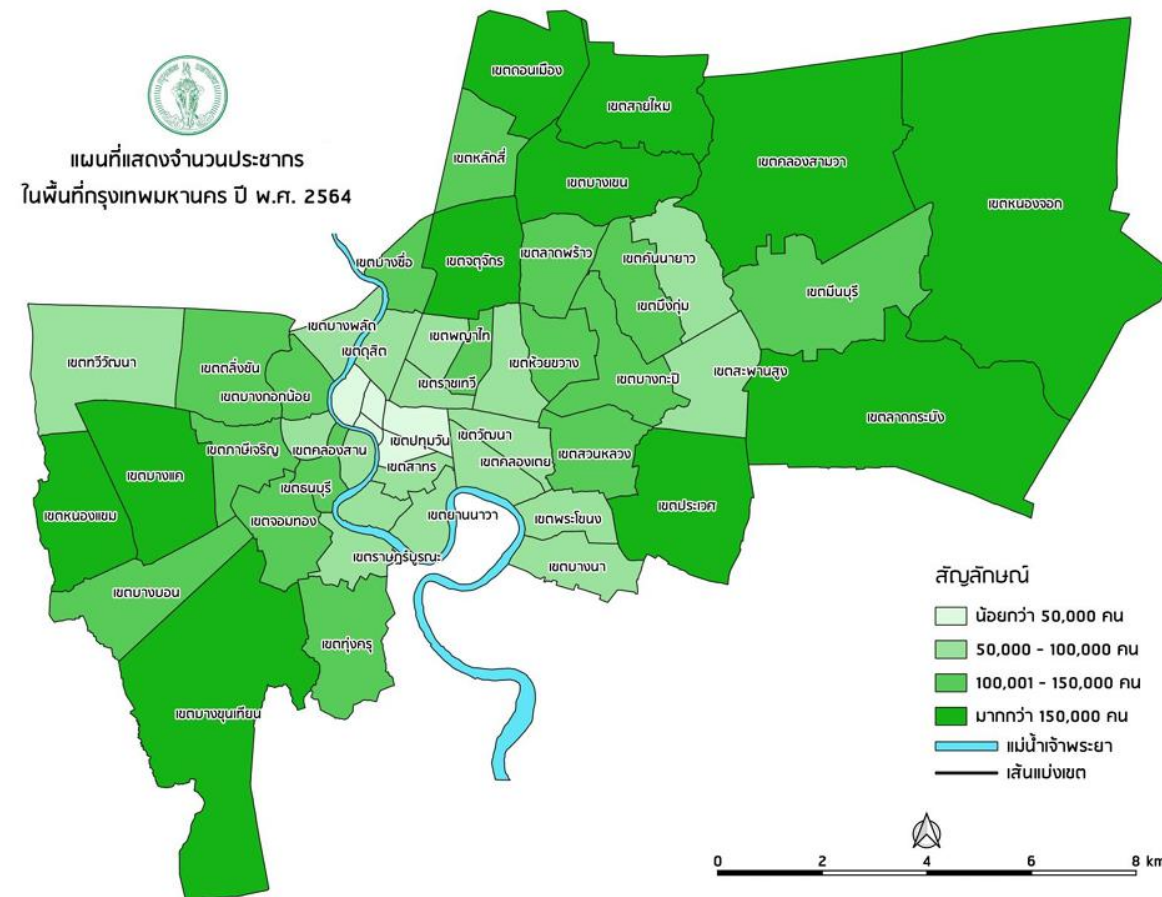
バンコクの人口統計データ

登録人口: 5,527,994 人

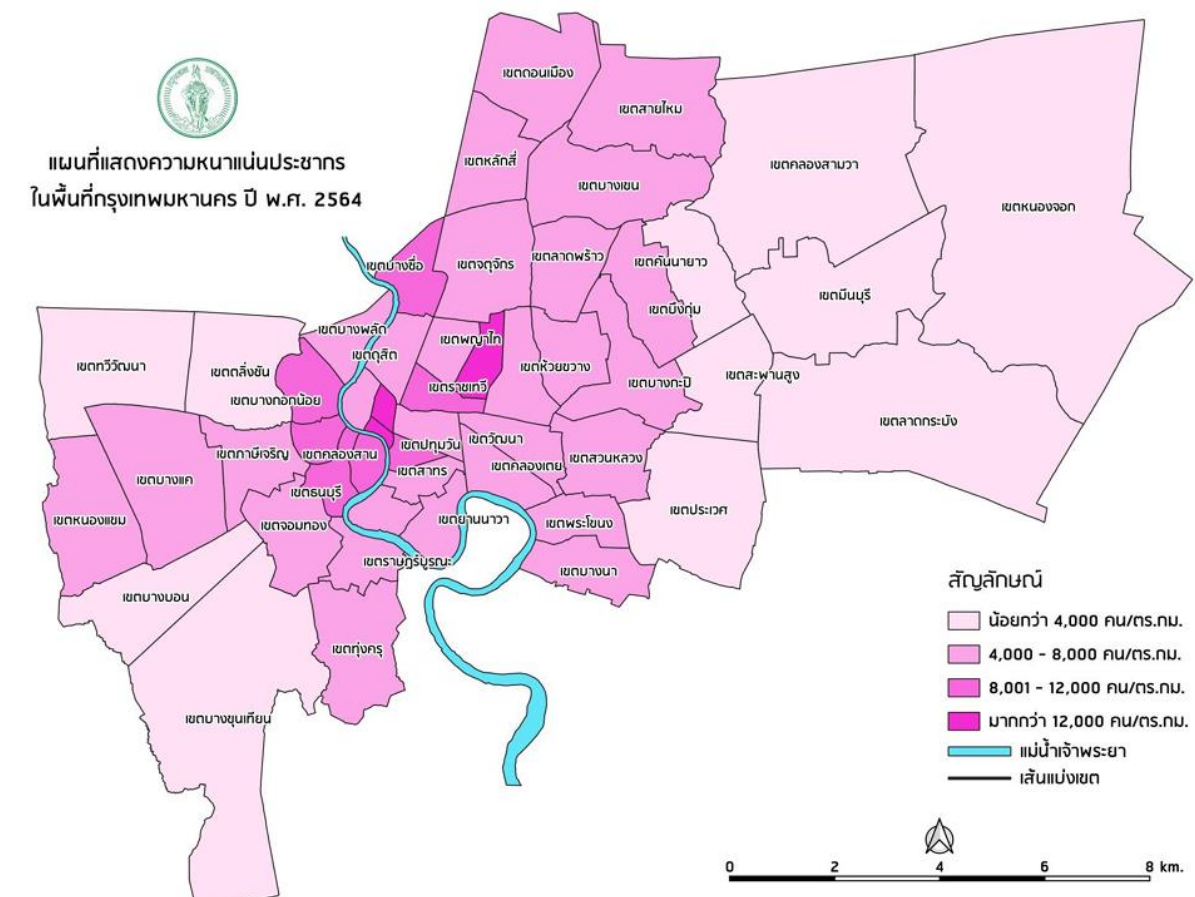
男女比: 1:1.13

面積: 1,568 平方キロメートル

バンコク50区における人口数の地理的分布



バンコク50区における人口密度の地理的分布



感染症対策の現状と戦略 - バンコク

バンコク都庁(BMA)における感染症対策を担当する 主要政府機関

- バンコクにおける感染症対策のため、バンコク都庁保健局(BMA Health Department)傘下の公衆衛生感染症局(Office of Public Health Communicable Diseases, OPHCD)は、疾病監視、感染症の発生調査、疾病予防および制御戦略(媒介生物の管理を含む)を担当しています。
- さらに、69カ所の公衆衛生センターが「監視および迅速対応チーム(Surveillance and Rapid Response Teams, SRRT)」に参加し、感染症のスクリーニング、地域での感染拡大の調査、地域における感染症対策および予防策の確立に取り組んでいます。

バンコクにおける感染症対策の戦略

- 継続的な感染症監視

- ・ 通常時において定期的に疾病監視を実施し、公衆衛生上の緊急事態時には強化される。
- ・ 国家データ連携

- 全国レベルのデータ統合システムを開発し、電子報告システムを活用。

EPI-NETと呼ばれるリアルタイムのウェブベースプログラム、および自動報告システムを導入。

- 現在進行中の監視活動：

- 指標ベース監視(R506 & R507)

- ゼロ報告制度（急性弛緩性麻痺(AFP)、鳥インフルエンザ、重症急性呼吸器症候群(SARS)、
予防接種後の有害事象などの疾病を対象)

- 事象ベース監視

- 病気の有無を示す物質の監視

バンコクにおける感染症対策の戦略

- 感染症の発生調査は、専門チームとそのネットワークによって実施される。

主な組織は以下のとおり:

- ・ バンコクSRRT(迅速対応チーム):

- OPHCD(公衆衛生感染症管理局)の3つのチームおよび69の公衆衛生センター(PHC)チームで構成

- ・ 保健省のチーム
 - ・ 各地区事務所(50チーム)
 - ・ 病院、王立タイ警察、王立タイ軍、財団、地域ボランティア

- 疾病特異的な感染対策戦略の実施
- 疾病予防の強化
- 媒介生物対策の強化(媒介生物による感染症の拡散を抑制するための地域レベルでの取り組みを強化)

バンコクにおける2024年1月から12月までの 最も流行した感染症トップ10(R506報告システムによる)

- 1.COVID-19(新型コロナウイルス感染症)
- 2.急性下痢症
- 3.インフルエンザ
- 4.肺炎
- 5.手足口病(HFMD)
- 6.食中毒
- 7.ウイルス性結膜炎
- 8.デング熱
- 9.梅毒
- 10.水痘(みずぼうそう)

2024年1月から12月にバンコクで発生調査が行われた 感染症トップ10(疫学部データベースによる)

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1.手足口病(HFMD) | 6. 水痘(みずぼうそう) |
| 2.百日咳 | 7. マラリア |
| 3.サル痘(Mpox) | 8. ストレプトコッカス・スイス感染症 |
| 4.インフルエンザ | 9. 食中毒および急性下痢症 |
| 5.新型コロナウイルス感染症 | 10.肺炎 |

主要な感染症

1. デング熱 (DHF)

2. サル痘 (Mpox)

3. ヒト免疫不全ウイルス (HIV) / 後天性免疫不全症候群 (AIDS)、
性感染症 (STI)、結核 (TB)

デング出血熱(DHF)

- 2024年1月1日から2024年12月31日までの間、バンコクにおけるDHF(デング出血熱)の有病率は 人口10万人あたり100.19 (n=5,482)であった。
- 2024年6月、バンコクにおけるDHFの有病率は、過去5年間の同時期の中央値を超えた。
- 雨季の間は感染対策を強化し、監視を徹底することが求められる。

サル痘

- 2024年1月1日から2024年12月31日までに、バンコクで 45件 のサル痘 (Mpox) 症例が報告された。
 - ・ 症例の 77.8% はタイ人 であった。
 - ・ 症例の 100% が男性 であった。
 - ・ 年齢層は20～49歳 であった。
- 大部分の症例はバンコクの中心部で確認された。
- タイで初めてのMpox Clade 1bの症例は2024年8月にバンコクで報告された。
現在、サル痘の状況と報告システムが慎重に監視されている。
- コンゴ民主共和国はハイリスク地域と見なされている。
- 症例調査と接触者追跡は、国家ガイドラインに基づいて実施される。

HIV/AIDS、性感染症(STI)、および結核(TB)

- バンコクでは、新規HIV感染者数が多い。
- 2023年時点で、バンコクにおけるHIV陽性者(PLHIV)の数は80,724人。
 - ・ 新規感染者数は、全体の1.3%を占める。
 - ・ バンコク都庁(BMA)の医療機関を利用したPLHIVの99%が、ウイルス抑制を達成。
- バンコク都庁(BMA)は、PHC 28において統合医療サービスの一環として、HIVケアを提供。
 - ・ 提供されるサービスには、性感染症(STI)管理、PrEP(曝露前予防)、PEP(曝露後予防)、HIV治療、結核(TB)治療が含まれる。

HIV/AIDS、性感染症(STI)、および結核(TB)

- 結核(TB)紹介センターの役割:
 - 患者は、紹介および転院サービスを利用可能。
 - フォローアップ不能になった患者の追跡。
 - 転院した患者の治療結果を監視。
 - TB専門家との協力により、ほぼリアルタイムで症例相談が可能。
- ケアは、学際的な医療チームによって支えられている。

ありがとう
ございました